

氷見市議会企画総務委員会会議録

令和4年2月10日（木）
氷見市庁舎議事堂委員会室
開会 午前10時00分
閉会 午前11時38分

- 1 案 件 令和4年度予算案のうち企画総務委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 6名
積良委員長、竹岸副委員長、正保委員、萩山委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 小清水副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 串田事務局長、舛田事務局次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、金谷代表監査委員、藤澤政策統括官、東軒企画政策部長、萩原秘書広報課長、高野地方創生推進課長、粟屋地域振興課長、布尾新文化施設建設室長、森田総務部長、中尾総務課長、出戸財務課長、三島税務課長、高田会計管理者、表監査委員事務局長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 経過及び結果
 - ・積良委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、説明を了承することとした（主な質疑応答は別紙のとおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和4年2月10日

氷見市議会企画総務委員長

積良 岳

令和4年2月企画総務委員会調査日程表

令和4年2月10日(休)午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 議会事務局 10:00~
・事業別明細書.....P98
- ◎ 会計課 10:03~
・事業別明細書.....P97
- ◎ 監査委員事務局 10:05~
・事業別明細書.....P122
- ◎ 秘書広報課 10:06~
・事業別明細書.....P1
- ◎ 地方創生推進課 10:15~
・事業別明細書.....P3
- ◎ 地域振興課 10:38~
・事業別明細書.....P5
- ◎ 新文化施設建設室 10:54~
・事業別明細書.....P8
- ◎ 総務課及び選挙管理委員会事務局 11:10~
・事業別明細書.....P12
- ◎ 税務課 11:18~
・事業別明細書.....P18
- ◎ 財務課 11:38~
・事業別明細書.....P15

主な質疑応答

<p>秘書広報課 萩山委員</p> <p>萩原課長</p> <p>萩山委員</p> <p>萩原課長</p>	<p>7. シティプロモーションブック制作事業費について。どのような発注方法を考えているのか。</p> <p>プロポーザルで選考する。冊子とデジタルをつくる。</p> <p>中身、コンテンツで選ぶのは理解するが、今、プロポーザルは注目を浴びているので、慎重に行ってほしい。</p> <p>慎重に進めていく。</p>
<p>地方創生推進課 正保委員</p> <p>高野課長</p> <p>萩山委員</p> <p>高野課長</p> <p>萩山委員</p> <p>高野課長</p> <p>萩山委員</p> <p>高野課長</p>	<p>10. 大学連携推進事業費について。600万円と大きく減額されているが、氷見高校のHIMI学との連携はどのように考えているのか。</p> <p>国の地方創生推進交付金が今年度までだったので減額となった。取組は内容を絞っていくこととしているが、カレーのレトルト化等、氷見高校の取組は継続していく。減額の要因はマコモダケの6次産業化等を止めたことによるものである。</p> <p>6. まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費について。企業版ふるさと納税の推進を図るとのことだが、現状はどのようになっている、どのように進めているのか。</p> <p>現在、5社から1、600万円いただけることになっている。氷見に支店のある企業を訪問しお願している。</p> <p>5社の属性はどのようなものなのか。 氷見に支店はないが、氷見にゆかりのある企業にもお願いしないのか。</p> <p>主に金融機関で、あとは建設業や製造業である。 東京氷見会や近畿氷見同郷会でお願いする予定であったが、コロナで中止となった。ゆかりの企業として、浅野関連の企業には文書の送付を検討したい。</p> <p>企業版ふるさと納税の計画はないのか。</p> <p>今年の目標は500万円としている。国の地域再生計画で目標額を設定しており、最大は2億円としている。</p>

<p>萩山委員</p> <p>林市長</p> <p>萩山委員</p> <p>高野課長</p> <p>谷口委員</p> <p>高野課長</p> <p>谷口委員</p> <p>高野課長</p>	<p>企業を訪ねる、あるいは文書を出すといわれたが、市の思いは伝わるのか。</p> <p>人の気持ちはフェイス トゥ フェイスでないと伝わらないが、コロナ禍で今はできていない。ゆかりの企業があいさつされた際をお願いしている。</p> <p>他の自治体と比べたらどのような状況か。</p> <p>他市の状況は調査していないが、新聞報道では、氷見の状況は厳しい。</p> <p>5. 総合計画推進事業費について。総合計画は出来あがっているのに、審査会はなぜ必要なのか。</p> <p>KPI の目標値に対しての達成状況を報告し、ご意見をもらうこととしている。</p> <p>委員の任期は決まっているのか。</p> <p>2年となっている。新たをお願いすることもある。</p>
<p>地域振興課</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>篠田副市長</p>	<p>10. 地域おこし協力隊事業費について。募集する業務や地域はどこか。</p> <p>第7期生として、1/17 から 2/18 まで募集している。稲積梅振興コーディネーター、八代や朝日丘の地域づくり支援員、中央町のまちなか創造クリエイター、余川のワイン用ぶどうの特産化プロデューサー、布勢地区の環境にやさしい農業推進員の地域で活動する者が6名と、市全域を活動する文化芸術活動コーディネーターが1名である。</p> <p>21. 城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費について。どのような問題を検討しているのか。</p> <p>一番のポイントは事業性があるかであって、沿線の相乗効果や市の負荷が過大にならないかを慎重に検討している。</p>
<p>新文化施設建設室</p> <p>谷口委員</p>	<p>1 新文化交流施設整備事業費について。備品の内容がわからない。12月定例会の委員会においては、予算計上にあたっては予算を抑える旨の意見もあったが、その具体的な説明がなかった。</p>

布尾室長	いきいき元気館にあるイスやテーブル、仮設舞台、学校のピアノなど、使えるものは活用し、予算計上している。
萩山委員	財源として寄付を活用するとか、例えば、ピアノ本体を寄付してもらうことなどの意見を出していたが状況はどうか。
東軒部長	企業版ふるさと納税の1,600万円中、600万円は芸術文化の備品としての意向があるので、3月補正で予算化したい。
林市長	新年のあいさつで、お会いする方々にセールスしている。中には「来年度出しましょう」といつてくれた企業もある。今後も広く働きかけたい。
税務課	
萩山委員	税金について。コロナになって市税収入の推移はどうか。
三島課長	令和2年度は急激な落ち込みがあったが、令和3年は、若干、持ち直してきている。令和2年度決算が51.2億円で、令和3年度見込みは49.2億円。令和4年度も同程度の49.3億円としている。
萩山委員	令和2年度は元年度と比べるとどうか。
三島課長	元年度と比べると4億円ほど落ちている。
萩山委員	予算案では2億円戻るとのことだが、景気の気は気持ちだ。日銀の短観などの指標を見ているのか。市内の景気マインドをつかんだ数値か。
三島課長	GDPや短観、景気判断の指標の数値を見て出している。個人事業者の回復は見受けられないが、一部の企業で上向いている。
森田部長	2億円増となっているが、令和3年度見込みを見ると、かたい数字である。